

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-509416(P2005-509416A)

【公表日】平成17年4月14日(2005.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2005-015

【出願番号】特願2003-541440(P2003-541440)

【国際特許分類】

| | | |
|---------|---------|-----------|
| C 1 2 Q | 1/68 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/7088 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 39/395 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 45/00 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 48/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 9/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/04 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/06 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 29/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 35/00 | (2006.01) |
| C 1 2 Q | 1/02 | (2006.01) |
| C 1 2 Q | 1/48 | (2006.01) |
| G 0 1 N | 33/15 | (2006.01) |
| G 0 1 N | 33/50 | (2006.01) |
| C 1 2 N | 15/09 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 38/00 | (2006.01) |
| C 1 2 R | 1/91 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|---------|---------|---------|
| C 1 2 Q | 1/68 | Z N A A |
| A 6 1 K | 31/7088 | |
| A 6 1 K | 39/395 | D |
| A 6 1 K | 39/395 | N |
| A 6 1 K | 45/00 | |
| A 6 1 K | 48/00 | |
| A 6 1 P | 9/00 | |
| A 6 1 P | 25/00 | |
| A 6 1 P | 25/04 | |
| A 6 1 P | 25/06 | |
| A 6 1 P | 29/00 | |
| A 6 1 P | 35/00 | |
| C 1 2 Q | 1/02 | |
| C 1 2 Q | 1/48 | Z |
| G 0 1 N | 33/15 | Z |
| G 0 1 N | 33/50 | Z |
| C 1 2 N | 15/09 | A |
| A 6 1 K | 37/02 | |
| C 1 2 Q | 1/02 | |
| C 1 2 R | 1/91 | |
| C 1 2 Q | 1/48 | Z |
| C 1 2 R | 1/91 | |

C 1 2 Q 1/68
C 1 2 R 1:91

A

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

疼痛障害を処置し得る候補化合物を同定するための方法であつて、以下：

i) 以下：

a) 配列番号6、配列番号3または配列番号9のアミノ酸配列と少なくとも95%同一なアミノ酸配列を含むポリペプチド；

b) 配列番号4、配列番号5、配列番号1、配列番号2、配列番号7または配列番号8のヌクレオチド配列を含む核酸と少なくとも95%同一なヌクレオチド配列を含む核酸分子によりコードされるポリペプチド；

c) 配列番号6、配列番号3または配列番号9のアミノ酸配列を含むポリペプチド；
および

d) 配列番号4、配列番号5、配列番号1、配列番号2、配列番号7または配列番号8に示されるヌクレオチド配列によりコードされるポリペプチド

からなる群より選択されるポリペプチドを含有するサンプルと試験化合物とを、該化合物の該ポリペプチドへの結合に適切な条件下で合わせる工程；ならびに

i i) 試験化合物の該ポリペプチドへの結合を検出して、それによって、該ポリペプチドに結合する化合物を同定する工程

を包含し、それによって、疼痛障害を処置し得る化合物を同定する、方法。

【請求項2】

疼痛障害を処置し得る候補化合物を同定するための方法であつて、以下：

i) 以下：

a) 配列番号6、配列番号3または配列番号9のアミノ酸配列と少なくとも95%同一なアミノ酸配列を含むポリペプチド；

b) 配列番号4、配列番号5、配列番号1、配列番号2、配列番号7または配列番号8のヌクレオチド配列を含む核酸と少なくとも95%同一なヌクレオチド配列を含む核酸分子によりコードされるポリペプチド；

c) 配列番号6、配列番号3または配列番号9のアミノ酸配列を含むポリペプチド；
および

d) 配列番号4、配列番号5、配列番号1、配列番号2、配列番号7または配列番号8に示されるヌクレオチド配列によりコードされるポリペプチド

からなる群より選択されるポリペプチドを含有するサンプルと試験化合物とを、該試験化合物が該ポリペプチドの活性を調節するのに適切な条件下で合わせる工程；ならびに

i i) 試験化合物が、該ポリペプチドの該活性を調節する能力をアッセイする工程を包含し、それによって、疼痛障害を処置し得る化合物を同定する、方法。

【請求項3】

疼痛障害を処置し得る化合物を同定するための方法であつて、以下：

i) 以下：

a) 配列番号4、配列番号5、配列番号1、配列番号2、配列番号7または配列番号8のヌクレオチド配列と少なくとも95%同一なヌクレオチド配列を含む核酸分子；

b) 配列番号4、配列番号5、配列番号1、配列番号2、配列番号7または配列番号

8のヌクレオチド配列を含む核酸分子；

c) 配列番号 6、配列番号 3 または配列番号 9 のアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一なアミノ酸配列を含むポリペプチドをコードする核酸分子；および

d) 配列番号 6、配列番号 3 または配列番号 9 のアミノ酸配列をコードする核酸分子からなる群より選択される核酸分子を発現する細胞と試験化合物とを合わせる工程；ならびに

i i) 試験化合物が、該核酸分子の該発現を調節する能力をアッセイする工程を包含し、それによって疼痛障害を処置し得る化合物を同定する、方法。

【請求項 4】

疼痛シグナル伝達機構を調節し得る候補化合物を同定するための方法であって、以下：

i) 以下：

a) 配列番号 6、配列番号 3 または配列番号 9 のアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一なアミノ酸配列を含むポリペプチド；

b) 配列番号 4、配列番号 5、配列番号 1、配列番号 2、配列番号 7 または配列番号 8 のヌクレオチド配列を含む核酸と少なくとも 95 % 同一なヌクレオチド配列を含む核酸分子によりコードされるポリペプチド；

c) 配列番号 6、配列番号 3 または配列番号 9 のアミノ酸配列を含むポリペプチド；および

d) 配列番号 4、配列番号 5、配列番号 1、配列番号 2、配列番号 7 または配列番号 8 に示されるヌクレオチド配列によりコードされるポリペプチド

からなる群より選択されるポリペプチドを発現するサンプルと試験化合物とを、該化合物の該ポリペプチドへの結合に適切な条件下で合わせる工程；ならびに

i i) 試験化合物の該ポリペプチドに対する結合を検出し、それによって、該ポリペプチドに結合する化合物を同定する工程

を包含し、それによって、疼痛シグナル伝達機構を調節し得る化合物を同定する、方法。

【請求項 5】

疼痛シグナル伝達機構を調節し得る候補化合物を同定するための方法であって、以下：

i) 以下：

a) 配列番号 6、配列番号 3 または配列番号 9 のアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一なアミノ酸配列を含むポリペプチド；

b) 配列番号 4、配列番号 5、配列番号 1、配列番号 2、配列番号 7 または配列番号 8 のヌクレオチド配列を含む核酸と少なくとも 95 % 同一なヌクレオチド配列を含む核酸分子によりコードされるポリペプチド；

c) 配列番号 6、配列番号 3 または配列番号 9 のアミノ酸配列を含むポリペプチド；および

d) 配列番号 4、配列番号 5、配列番号 1、配列番号 2、配列番号 7 または配列番号 8 に示されるヌクレオチド配列によりコードされるポリペプチド

からなる群より選択されるポリペプチドを含有するサンプルと試験化合物とを、該試験化合物が該ポリペプチドの活性を調節するのに適切な条件下で合わせる工程；ならびに

i i) 試験化合物が、該ポリペプチドの該活性を調節する能力をアッセイする工程を包含し、それによって、疼痛シグナル伝達機構を調節し得る化合物を同定する、方法。

【請求項 6】

疼痛シグナル伝達機構を調節し得る化合物を同定するための方法であって、以下：

i) 以下：

a) 配列番号 4、配列番号 5、配列番号 1、配列番号 2、配列番号 7 または配列番号 8 のヌクレオチド配列と少なくとも 95 % 同一なヌクレオチド配列を含む核酸分子；

b) 配列番号 4、配列番号 5、配列番号 1、配列番号 2、配列番号 7 または配列番号 8 のヌクレオチド配列を含む核酸分子；

c) 配列番号 6、配列番号 3 または配列番号 9 のアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一なアミノ酸配列を含むポリペプチドをコードする核酸分子；および

d) 配列番号 6 、配列番号 3 または配列番号 9 のアミノ酸配列をコードする核酸分子からなる群より選択される核酸分子を発現する細胞と試験化合物とを合わせる工程 ; ならびに

i i) 試験化合物が、該核酸分子の該発現を調節する能力をアッセイする工程を包含し、それによって疼痛シグナル伝達機構を調節し得る化合物を同定する、方法。

【請求項 7】

前記疼痛障害が、炎症性疼痛、慢性疼痛、神経障害性疼痛、カウザルギー、線維筋痛症、癌性疼痛、片頭痛 / 頭痛の疼痛または組織疼痛である、請求項 1 、 2 または 3 に記載の方法。

【請求項 8】

前記化合物が、低分子、ペプチドおよび抗体からなる群より選択される、請求項 1 、 2 、 4 または 5 に記載の方法。

【請求項 9】

前記化合物が、アンチセンス核酸分子である、請求項 3 または 6 に記載の方法。

【請求項 10】

前記ポリペプチドが、異種性のアミノ酸配列をさらに含む、請求項 1 、 2 、 4 または 5 に記載の方法。

【請求項 11】

前記サンプルが、細胞または単離されたポリペプチドである、請求項 1 、 2 、 4 または 5 に記載の方法。

【請求項 12】

前記同定された化合物を疼痛の動物モデルに投与し、該化合物が、該動物モデルの疼痛を調節するかどうかを決定する工程をさらに包含する、請求項 1 、 2 、 3 、 4 、 5 または 6 に記載の方法。

【請求項 13】

疼痛障害を有するか、疼痛障害を発症する危険のある被験体を同定するためのキットであつて、該キットは、第 1 の増幅プライマーおよび第 2 の増幅プライマーを含み、該第 1 のプライマーは、配列番号 4 、配列番号 5 、配列番号 1 、配列番号 2 、配列番号 7 または配列番号 8 の少なくとも 25 の連続するヌクレオチドを含み、そして該第 2 のプライマーは、配列番号 4 、配列番号 5 、配列番号 1 、配列番号 2 、配列番号 7 または配列番号 8 の相補体からの少なくとも 25 の連続するヌクレオチドを含む、キット。

【請求項 14】

疼痛障害を有するか、疼痛障害を発症する危険のある被験体を同定するためのキットであつて、該キットは、以下 :

a) 配列番号 6 、配列番号 3 または配列番号 9 のアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一なアミノ酸配列を含むポリペプチド ;

b) 配列番号 4 、配列番号 5 、配列番号 1 、配列番号 2 、配列番号 7 または配列番号 8 のヌクレオチド配列を含む核酸と少なくとも 95 % 同一なヌクレオチド配列を含む核酸分子によりコードされるポリペプチド ;

c) 配列番号 6 、配列番号 3 または配列番号 9 のアミノ酸配列を含むポリペプチド ; および

d) 配列番号 4 、配列番号 5 、配列番号 1 、配列番号 2 、配列番号 7 または配列番号 8 に示されるヌクレオチド配列によりコードされるポリペプチド

からなる群より選択されるポリペプチド、および該ポリペプチドに選択的に結合し得る抗体を含有する、キット。

【請求項 15】

前記疼痛障害が、炎症性疼痛、慢性疼痛、神経障害性疼痛、カウザルギー、線維筋痛症、癌性疼痛、片頭痛 / 頭痛の疼痛または組織疼痛である、請求項 13 または 14 に記載のキット。

【請求項 16】

請求項 1、2、3、4、5 または 6 で同定された化合物を含む、疼痛障害を有する被験体を処置するための薬学的組成物。

【請求項 1 7】

前記疼痛障害が、炎症性疼痛、慢性疼痛、神経障害性疼痛、カウザルギー、線維筋痛症、癌性疼痛、片頭痛 / 頭痛の疼痛または組織疼痛である、請求項 1 6 に記載の薬学的組成物。